



明るく 豊かに たくましく

# 鶺鴒川高校だより

令和5年4月号  
(R5.4.28発行)  
北海道鶺鴒川高等学校  
TEL/FAX 0145-42-2085

学校HP <http://www.mukawa.hokkaido-c.ed.jp/>

## 鶺鴒川高校を真の『学びの場』へ！

校長 柳 本 高 秀

4月より赴任いたしました、柳本です。どうぞよろしくお願いいたします。  
創立71年目を迎えた本校は、「むかわ学」をはじめとした様々なカリキュラムによる教育実践を行っています。

これまでの本校での取組と成果の上に、国や北海道の動きや、生徒・保護者及び地域のニーズを踏まえ、地域に信頼され、地域が「生かしたい」、保護者が「行かせたい」、生徒が「行きたい」と考える教育を推進するため、以下に掲げる事柄を本校の使命（ミッション）として取り組んでいます。

- 1 地域との連携・協働等を通じて、地域の課題に向き合い、解決するために必要な資質・能力を身に付けた生徒の育成
- 2 異年齢の集団による活動を通じて、自らの個性を伸長するとともに、社会性や豊かな人間性を身に付けた生徒の育成
- 3 地域の高校として、地域の教育資源を活用した教育活動を通じて、社会人としての基本的な資質・能力を身に付け、地域の未来を担っていく生徒の育成
- 4 個々の生徒の特性等に対応した学習指導やキャリア教育を通じて、主体的な進路決定をするための資質・能力を身に付けるとともに、部活動等とおした活力のある生徒の育成



この本校の使命を達成するには、鶺鴒川高校に関係する全ての人々が学校を中心とした地域社会全体で、日々「探究」していくことが必要であると考えています。

- 生徒の探究力の向上
- 教職員の教科・探究等に関する指導力向上
- 地域・本道における学びの場の提供

本校生徒のみならず、教職員、地域の皆様にとっても、本校が真の『学びの場』となることで、社会に開かれた教育課程の実現を強く推進します。

本校生徒が、安心・安全で心もからだも大きく成長し、主体的によりよく人生を切り拓いていける人材となるよう、本校教育活動の充実をさらに進めてまいります。

皆様方の本校教育活動への益々のご理解ご協力をお願いいたします。

## 企画総務部より

企画総務部長 山 岸 拓

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。本校では、令和5年度も「地域創生に向けた高校魅力化」の実現に向けて、様々な教育活動を行って参ります。

### ●地域みらい留学365（北海道高等学校「高校生対流促進事業」）

高校2年生の1年間、在籍している高校とは別の高校で過ごす国内留学制度です。昨年度は、兵庫県の私立高校から1名、留学生を受け入れました。本年度は、千葉県の上尾高等学校から1名、東京都の私立高校から1名、本校に留学生という形で生徒を受け入れています。また、今年度から「3年間の留学」も可能となりましたので、今後はさらに多くの地域からの入学生が増える予定です。

### ●鶺鴒川高校魅力化コンソーシアムの運営

令和2年度から本格的に始動した鶺鴒川高校魅力化コンソーシアム（共同事業体）は、鶺鴒川高校の応援団組織です。今年度も構成団体の皆様のご協力を頂きながら、本校の柱である学校設定科目「むかわ学」における探究活動や「チャレンジスタディ」で行われる長期インターンシップの「デュアルシステム」を始めとした、様々な場面で皆様のご協力を頂く場面があるかと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

### ●学校開設科目「チャレンジスタディ」「むかわ学」の実施

平成29年度から実施している上記教科について、今年度も地域や保護者の皆様のお力を借りながら実施して参ります。特に、夏休み明けから実施する「デュアルシステム」や、9月に実施する「むかわ学提言発表会」において、生徒の取組をご覧になる場面もあるかと思っておりますので、是非お越しいただき、忌憚のないご意見を頂ければと思います。

その他にも公開授業週間や学校評価アンケート等の場面で、ご意見を頂く場面がございますので、是非本校の取組をご覧になり、ご意見を頂ければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

私が教室へ入ったとき、これからの高校生活が楽しみだという気持ちと不安な気持ちでいっぱいでした。そして、新しいメンバーや慣れない環境で迎えた入学式本番は、想像以上に緊張したし、私にとって忘れられない思い出となりました。

入学式を終え、高校生活が始まった今、私には頑張りたいことがたくさんあります。その中でも特に頑張りたいことは勉強です。期末テストではなく、小テストが成績に関わってくるので、普段から家庭学習などでコツコツと勉強し、苦手なところもなくせるようにしたいです。また、検定などに挑戦し、落ちても諦めずに何度でも挑戦しようとする心を身に付け、自分を高めていきたいです。

私が高校生活で楽しみなことは、学校祭や球技大会などの行事です。中学校では例年通りの行事が行えなかったため、全部が新鮮に感じる高校行事になればいいなと思ったからです。

私はこの高校生活で、挑戦する心を大事にして過ごしていきたいです。また、クラスの中を深め、1日1日を大切にたくさんの思い出を1人ではなく、みんなと作ってしていきたいです。



## コラム ～地域みらい留学 365 留学生を迎えて☆彡

「地域みらい留学 365」は、在籍する高校とは別の地域で高校2年生の1年間を過ごす、国内単年留学を可能にする仕組みです。内閣府の高校生の地域留学の推進のための高校魅力化事業として、2020年度にスタートし、本校では一昨年度から留学生を受け入れてきましたが、今年度は2名の生徒を受け入れることとなりました。積極的に地域の方々と関わるため、今年度より、留学生のコラム連載を実施いたします。

### 2年A組 矢代茉鼓(やしろ まこ)

地域みらい留学生として2年A組に入りました矢代茉鼓です。東京都練馬区にある中高一貫の女子校、富士見高校に在籍しています。中学では硬式テニス部を経験して高校からは合唱部と華道部を兼部しています。合唱部ではソプラノ担当♪華道部では部活後に毎週自宅のリビングに花を飾って楽しんでいました！

北海道には夏と冬の計3回、母の仕事でお手伝いに来たことがあります。幼稚園から小学生たちと一緒に30人くらいで馬や羊、鶏のお世話をしながら森作りへの貢献をしています。そこで私は馬が大好きになり北海道留学にエントリーしました。北海道、おかわ町の自然、畑、動物、美味しい食べ物、温泉など、東京にはない贅沢な経験を満喫したいと思っています。

皆さんが生活しているこの町の#おススメ、自慢できる事、モノ、場所を知りたいです！！たくさん笑ってたくさん話してみなさんと仲良くなりたいたい♡これから1年間よろしくお願いします。



### 2年B組 本郷夏奈(ほうごう かな)

こんにちは。千葉県立柏中央高校から来ました。本郷夏奈です。今回は私がこの地域にやって来た理由を説明しようと思います。私は地域みらい留学でこの学校を見つけました。最初、元の高校からは反対意見が多くありました。それでも私がこの高校に行きたいと思った理由は二点あります。一つ目は親元から離れて自立をしようと思ったからです。自分は元々家から近い学校や家から近いコミュニティを作っていました。なので、親に頼らず自分ひとりで広いコミュニティを作ろうと思ったことがきっかけです。自分が作るコミュニティでは自分が自分であるために、自分に厳しく生きていかなければいけないと思っています。

二つ目はオープンスクールで鶴川高校に来たときに、わかりやすい授業と先生と生徒の関係が深いと思ったからです。柏中央高校では人数が多く、授業で分からないところがあっても質問もできないような状況でした。でも、鶴川高校では先生と生徒の距離が近くて質問もしやすく、色々な人と関わることができるよう思えたのでこの学校に決めました。

これから色々な方とお会いしたり、お話ししたりする機会があると思います。その時はたくさんお話したいと思いますのでよろしくお願いします。

